

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	企業との連携を通じた環境成長要因の分析活用事業		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	環境計画課		環境経済政策調査室長 矢田 真司		
会計区分	一般会計		施策名	9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)において、環境分野が我が国の強みを活かす成長分野の一つに位置づけられているように、環境分野が新たな成長を牽引することが強く期待されている。こうした「環境と成長の両立」を実現するため、企業や産業界と緊密に連携しながら、環境ビジネスの成功要因の分析、環境ビジネス振興のための支援策の検討等を行い、その成果を広く共有し、企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境分野別・環境産業の属性別(消費財・資本財・中間財・輸出財)に、環境ビジネスのベンチャー企業や先進企業を抽出し、当該企業へのヒアリング等を通じその成功事例を収集・整理し、各事例から共通する環境ビジネスの成功要因やビジネス上の障壁及びその克服策、成長を促進するための取組について分析を行う。その上で、環境ビジネス関連企業や有識者等の意見を採り入れつつ、今後の成長が期待される環境ビジネス分野や環境ビジネス振興のための支援策を検討する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	10	6	0	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	10	6	0	
	執行額	-	-	13				
執行率(%)	-	-	130%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	環境ビジネスの実態を把握・分析し、その成果を広く企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的としているため、定量的な成果目標の設定は困難		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	環境ビジネスの実態を把握・分析し、その成果を広く企業の実務・経営判断や環境政策に活用することを目的としているため、定量的な活動指標の設定は困難		活動実績	-	-	-	-	-
			(当初見込み)	-	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	アウトカム、アウトプットについて定量的な設定ができないため				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	(目)環境保全調査等委託費	6	0	264の事業へ統合する。				
	計	6	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境分野については、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)において、環境分野が我が国の強みを活かす成長分野の一つに位置づけられているように、環境産業が新たな成長を牽引することが強く期待されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	受託者の選定にあたっては、企画競争を実施し競争性を確保するとともに、事業完了後に精算行為を行うことにより支出の透明性を確保。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業で実施した成果は、対外的に公表し、今後の成長が期待される環境ビジネス分野や環境ビジネス振興のために効果的に活用。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○本事業は平成23年度新規事業であるが、「資金の流れ、費目・使途」について、支出の透明性を確保するため、予算要求の段階から委託費で予算要求を実施。</p> <p>○本事業で実施した成果は、対外的に公表し、今後の成長が期待される環境ビジネス分野や環境ビジネス振興のために効果的に活用。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	世界に貢献する環境経済の政策研究と整理統合し、効率的な事業実施に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	整理合理化を行い、264「世界に貢献する環境経済の政策研究」と統合し、効率的な事業執行に基づく予算要求になるように反映した。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-013

※平成23年度実績を記入

環境省
(13百万円)



【企画競争】
A. 三菱UFJリサーチ&コンサルティン
グ株式会社(13百万円※)

環境ビジネス関連企業や有識者等から環境ビジネスに関する具体的な情報を得つつ、環境ビジネスに役立つ「実学」の立場に立って、環境産業の市場規模の変化の要因及び現状の市場動向に関する分析や、環境ビジネス関連企業における環境ビジネスの成功要因の分析を行う。

※契約額が予算額を超過しているのは他事項と合わせて契約しているため。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 三菱UFJリサーチ&コンサルタンツ株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	10.5			
旅費	検討会委員等旅費、調査旅費	0.3			
借料及び損料	検討会会場借料	0.2			
諸謝金	検討会委員等謝金	0.6			
会議費	検討会会議費	0.0			
雑役務費	翻訳	0.0			
一般管理費		1.1			
消費税		0.6			
計		13.5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	平成23年度企業との連携を通じた環境成長要因の分析活用事業委託業務	13.5	5	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					